



…… 表紙写真 ……

【瀬長島から望む夕日】
(瀬長島)

瀬長島は、豊見城市と那覇市の境に位置しており、那覇空港に離着陸する航空機を間近で見ることができるポイントとして有名です。さらに、夕日の鑑賞スポットとしても大変人気があり、地元の方々の憩いの場となっています。

撮影した10月下旬は、久しぶりに晴天の週末となったこともあり、海岸で貝殻を探す家族連れや夕日を眺める人々で賑わっていました。

本年も残りわずかとなり、慌ただしい時期となってきますが、時には日々の喧噪から少し離れて、夕日を眺めてみるのもいかがでしょうか。

群星 [むりぶし] Muribushi

CONTENTS

	01 就任の御挨拶	内閣府特命担当大臣 川端 達夫
	02 プロフィール	内閣府特命担当大臣 川端 達夫 内閣府副大臣 石田 勝之 大臣政務官 園田 康博
	03 地域の目	観光コンシェルジュ 株式会社スペースチャイナ 代表取締役社長 佐藤 未雲
特集	04 特集 1	沖縄西海岸道路（那覇西道路） 那覇港臨港道路（空港線）供用開始
	08 特集 2	再生可能エネルギーの固定価格買取制度について
仕事の窓	10 仕事の窓 1 財務部	法人企業景気予測調査
	12 仕事の窓 2 運輸部	平成 23 年度交通エコロジー教室の開催
	13 仕事の窓 3 運輸部	めざせ船員！体験学習を実施
局の動き	14 総務部 財務部	高校で出前授業「独占禁止法教室」を開催 「金融庁業務説明会」及び「検査基本方針説明会」を開催
	15 農林水産部 農林水産部	消費者の部屋特別展示「立ち上がる農山漁村パネル展」を開催 消費者の部屋特別展示「沖縄地域6次産業化推進パネル展」を開催
	16 開発建設部 開発建設部	「港湾空港技術特別講演会 in 沖縄 2011」を開催 北部国道事務所管内における不法投棄について
	17 経済産業部 運輸部	「証明用電気計器（子メータ）」の有効期限が過ぎていませんか！？ 平成 23 年度船員労働安全衛生月間の実施
	18 なかゆくい	
	20 内閣府だより	
	21 お知らせ	

うちなー 農林水産物

#3

No. 1

～クルマエビの生産量～

沖縄における養殖といえばモズクがまず頭に浮かびますが、クルマエビの養殖も盛んに行われています。生産量はモズクに遠く及びませんが、生産額は約30億円と沖縄における養殖漁業の5割弱を占めており、沖縄の養殖業の重要な柱となっています。このクルマエビの平成22年の生産量は約600tであり、全国の約3割を占め、全国No.1となっています。

本土では1930年代に始まったクルマエビの養殖ですが、沖縄では1960年代に始まりました。現在は久米島町、石垣市、宮古島市など約20ヶ所で生産されています。クルマエビを養殖する上で、母エビが持つウイルスへの対策が重要な課題でしたが、近年、深層水を活用した養殖方法などにより、克服しようとする取組も行われています。

さて、クルマエビの養殖が盛んな沖縄ですが、エビの消費量は少なく、那覇市の1世帯当たりの年間消費量は、都道府県庁所在地の中で最下位となっています。今後は、県外出荷に加え、地産地消の取組も期待されています。

ワン!



養殖場の様子
(宮古島市高野地区)